

出版資料名	部門	規格	頁数	発行部数	編集のねらい
福島県社会教育指針	行政資料	B5	60	1,200	社会教育行政をすすめるための指針として重点施策、指導の重点、行事計画等を集録する。
社会教育 No230 図書館活動の振興 No231 家庭教育の振興 No232 社会教育指導者の養成 No233 青少年教育施設の利用	一般	B5	20	2,100	年4回発行 社会教育の諸問題について、論説、記録、実践事例等の特集号として発行し、本県社会教育の振興に資する。

## 第2節 青少年教育

### 1 概要

青少年教育の推進に当っては、家庭や学校では、本来的に期待しにくい教育活動を積極的に推進することにより、青少年の豊かな人間形成に資することをねらいとして、各種の事業を行った。

少年教育においては、「ガキ大将教室」など、少年教育事業の積極的、かつ効果的な実施を奨励するとともに、少年団体活動の振興を図るために、年少及び成人指導者の養成、各種施設の整備充実と利用促進等を図り、活動の充実に努めてきた。

学校・家庭・地域社会の連携を強めるとともに、少年の望ましい成長発達を疎外する諸要因を除去しながら、少年が自発的・主体的に多様な活動を展開できる条件の整備充実に一層の努力が必要である。

青年教育においては、青年の主体的な参加による学習の機会と場の拡充整備に努めるとともに、地域における青年団体の育成を促進する。

特に、青年学級・教室については、県内2町村に研究学級を委託し、学習活動のあり方について実践的研究を進めた。さらに、青年学級・教室リーダー研修会を県内7方で開催し、学級内リーダーの養成に努めた。

今後は、多様な学習要求をもつ勤労青年の実態に即した学習内容の提供に、一層努力する必要がある。

また、在学青少年に対しては、青少年地域活動促進事業等を通して、社会教育活動への積極的な参加を促進する必要がある。

### 2 少年教育研究協議会

#### (1) 趣 旨

一人ひとりの少年がよりよく生きるために、少年が充実した生活を送ることができる条件整備のあり方について検討し、少年期における豊かな人間形成をはかるための諸問題について研究協議を行い、社会教育における少年教育の振興に資する。

#### (2) 期日、会場、参加者数

管内	期 日	会 場	参加者数
県北	昭和55年5月30日	安達町中央公民館	204名
県中	昭和55年6月3日	三春町三春公民館	198名
県南	昭和55年6月4日	矢祭町中央公民館	136名
会津	昭和55年6月12日	磐梯町老人福祉センター	118名
南会津	昭和55年6月20日	伊南村民会館	138名
相双	昭和55年6月12日	富岡町文化センター	207名
いわき	昭和55年6月5日	いわき市小名浜公民館	196名

#### (3) 講師、助言者

##### ① 講 師

県北会場	飯野町教育委員会教育長	中村 昌幸
県中会場	前郡山市教育委員会教育長	堀内 鉄雄
県南会場	福島県青少年会館長	佐藤利三郎
会津会場	福島大学教育学部教授	菊地 章夫
南会津会場	福島県立会津短期大学助教授	佐々木篤信
相双会場	小高町立小高小学校長	吉津 守雄
いわき会場	福島県青少年会館長	佐藤利三郎

##### ② 助 言 者

県教育庁社会教育課員、各教育事務所員、各管内小中学校長、開催地市町村教育委員会事務局職員等

#### (4) 参加対象

少年教育関係者、市町村教育委員会関係者、学校教育関係者、各種機関・団体関係者等

#### (5) 内 容

##### ① 研究主題

「少年期における豊かな人間形成をはかるための、子ども会等少年団体の組織、運営、活動の拡充をはかるとともに、少年団体以外の健全育成のための地域活動のあり方をさぐる」

##### ② 講 演

- 「少年教育への提言」
- 「現代の子ども」
- 「地域に根ざした子ども会育成の諸問題」
- 「現代の子どもと集団生活の意義」
- 「子どもの健全育成を目指す地域社会の役割」
- 「育てよう、心豊かにたくましく」

##### ③ 研究協議

子ども会等の日常活動のあり方、少年の健全育成のための地域啓発のあり方、地域子ども会の組織化・加入促進のあり方、地域に根ざした子ども会等の活動のすすめ方、家庭生活や地域社会生活の中での少年非行防止のすすめ方、子どもの健全育成のための関係機関・団体との提携のあり方、子どもの健全育成のための地域子ども会等少年団体の組織・運営活動のあり方等について、事例発表、分科会、分散会形式により実施。

## 3 少年団体指導者研修会

### <年少指導者研修>

#### (1) 趣 旨

少年団体の継続的な日常活動を推進するためには、年少